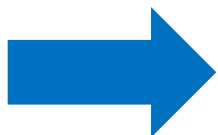


地域の わ 通信

Kanagawa-ku
Chiiki ryoku

神奈川区の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026



第3期 神奈川区地域づくり大学校

第5講 1月14日(日) 9:30~12:30 神奈川区役所

「夢プラン」へVS

自分の思いをデザインする



第5講では、まちづくりコーディネーターの講義「良い企画づくり」を聞き、その後の個人・グループワークを含めて、前講で構想を練った「夢プラン」シートの完成を目指しました。また、地域づくり大学校の1期2期の卒業生にも参加してもらい「夢プラン」についてアドバイスをもらいました。卒業生からの言葉には地域の先輩ならではの視点が多く、「夢プラン」のブラッシュアップに大きな力となりました。

第5講概要

日時：平成30年1月14日(日) 9:30~12:30
場所：神奈川区役所
主催：神奈川区連合町内会自治会連絡協議会
認定NPO法人市民セクターよこはま
神奈川区役所
協力：社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会
受講者：24名(第5講参加は22名)

当日のプログラム

- 地域大卒業生の紹介・アイスブレイク
- 講義「良い企画づくりのポイント」
山路 清貴 氏(まちづくりコーディネーター)
- 個人ワーク(夢プランシート作成)
- グループワーク(プラン発表・アイデア交換)
- 清書タイム(夢プランシート清書)
- 講師による個別相談タイム

【講義】 良い企画づくりのポイント

(まちづくりコーディネーター山路 清貴 氏)

はじめに、講師である山路さんから、「夢プラン」の書き方についてレクチャーがありました。ここでは3つのポイントにまとめてご紹介します。

Point1 企画シートを概括して

まずプランは本当に自分がやってみたいことを考えてみましょう。その上でやる気が伝わる自分の言葉（×専門用語）で書いてください。前置きが長いほど、中身が無いと思われるので、「これがしたい、なぜならば」というように結論から書いているかチェックしてください。

Point2 プログラムの内容

書きづらいところは後回しにして、一番書きたいところから書いてください。活動は、「小さく初めてすぐ修正ができ、やめられること。」「まず3人の仲間から始められること」が良いです。そして、どこでやるのか現場がイメージでき、地域の宝（子どもや食、地域の歴史など）が真ん中に置かれていることがポイントです。

Point3 周辺の反応

作ったプランで、たくさん突っ込まれた企画は見込みがあると思うべし!まわりの人が色々と尾ヒレをつけて盛り上がった企画は良いところ



【個人・グループワーク】

「夢プラン」をブラッシュアップさせるための意見交換 & 講師による個別質問タイム



講義を聞いた後は「夢プラン」シートを作成する個人ワークを設け、地域で実現したい活動を書き込んでいきました。その後、グループ内でプランを発表し、「聞いた感想やさらに良くなるアイデア」について大学校の卒業生にも参加してもらい意見交換をしました。卒業生ならではの視点での助言は受講生の刺激になりました。

これと並行して、講師の山路さんへの個別質問タイムを設けました。プランに関する質問に対して、まちづくりのプロである講師の山路さんから個別にアドバイスをもらい、プランの完成を目指しました。山路さんからは、受講生が思っている以上のアイデアやアドバイスがあり、時間が足りないほどでした。



受講生の感想・夢プランに対して一歩踏み込めそうです。

(抜粋)

- ・自分の夢プランの可能性が広がりました。
- ・夢プラン実現に向けた具体的なことがわかりました。
- ・山路さんをはじめ、グループ内のアドバイスが納得するものばかりでした。
- ・自分のオリジナル案を深められ、まわりの人の意見を聞いて刺激になりました。